

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区千田22-8
施設名	江東区千田保育園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

自然に触れたり、見たり、感じたりしたことを表現する。

〈テーマの設定理由〉

昨年度も自然と関わることをテーマとして、探究活動を行う中で自然に関する色々な事に興味関心が広がり引き続き深めていきたいと思いました。また公園などに行くと虫、花、風、水、色等興味を持って関わり、自然物を多く使って遊ぶ姿から、感じたことを表現したり、探求心を更に深めて行ける活動をしていきたいと思いこのテーマにしました。

2 活動スケジュール

（活動内容・時間/回・人数/回）

5歳児	4歳児
①「音探し（園内外）」60分/4回・10名/9名	①「自然の中の色々な感触」45分・60分/各2回・各9名
②「民族楽器を聴く」60分/4回・10名/9名	②「石を磨いて感触を確かめる」60分/2回・8名/9名
③「音～耳を澄ます」・60分/2回・8名/8名	③「石の感触粘土の感触」60分/2回・各10名60分/2回
④「みんなの音を聴いてみる」・120分/1回	④「石膏マジック/感触」60分/4回・各9名
⑤「屋外で音を探す」・120分/1回・17名	⑤「柔らかい感触～伸びる粘土、ガラス瓶」
⑥「自然の音を作る～グループで」110分/1回・19名	50分/4回・8名/9名
⑦「音階を感じる」60分/2回・8名/8名	⑥「感触～ふわふわ」50分/2回・8名/9名
⑧「音楽を作る」110分/1回・17名	2歳児
3歳児	「あおむしの飼育・観察」
①「自然の中の色を探す、緑の探求」45分/4回・各9名	1回20～30分 6月～9月 8回・8～9名
②「紫陽花の色から」45分/2回・各9名	1歳児
③「凍らせた花と色で遊ぶ」45分/4回・各9名	「風の心地よさや不思議さを感じる」
④「色と水で描く体験」45分/2回・各10名	1回20分位 5月～2月 8回・7～8名
⑤「オイルパステルで描く葉の色・果物」45分/4回・各9名	0歳児
⑥「野菜の香りと色」40分/2回・9名/10名	「初めて触れる自然物」
	1回15分～20分 6月～2月 4回・6名

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

紙（コピー用紙・新聞紙、画用紙、カラーセロファン）、レジ袋、ペットボトル、iPod、民族楽器（カホン・ギロ等）、聴診器、空箱、ラップの芯、缶、小豆、種、ザル、ストロー、粘土、羊毛、枝、アルミワイヤー、ガラス瓶、カップ、懐中電灯、ポスターカラー、光テーブル、石膏、スポイト、ヘラ、割り箸、ハレパネ、花、クレヨン、ペン、果物、野菜、食紅、プリズム・布・図鑑

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

園内、園外で自然物に触れながら、五感に触れ興味あるものを探した。音、色、土・石などの感触、虫、風、葉、木の実などに興味を示し、じっくり観察したり、触れたり、試したりしながら絵や製作、言葉、表情などで表現した。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

- ・「音って何？」と問うと園内外を探し集めた音を友達と聞く。「新幹線の音」と例えたり「ギザギザ」と話す。民族楽器に触れ、「音を作りたい」と楽器作りが始まり披露した。音探しや音作りをする中で友達と協力したり、一緒に音を鳴らす楽しさ面白さを感じ探求が深まった。(5歳児)
- ・自然の中で色々な感触を探し、「石も色々な感触があるね」と保育者が話すと「ざらざら」「重たい」等様々な触り心地の石を集めた。磨く、別の感触(土粘土、石膏、羊毛等)を用意し形が変わらない、変わる事に興味を示し、色も加わり、結果よりも変化や過程を楽しむ。(4歳児)
- ・「色を探そう」と公園で葉や花に触れ「これは何色？」と問いかけ同じ紫でも「ピンク?」「青?」と上手く言葉で表せないが違いに気づく。じっくり観察し見つけた色を絵の具やクレヨンを使って表現していた。
- ・自然に触れ保育者がこどもの気づきを言葉で表す事で興味を示し自ら関わっていた。(0~2歳児)



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・「聞く・探す・奏でる・作る」探求を通し聴覚だけでなく視覚と脳を使った体験にも繋がっていた。
- ・結果は二の次で、変化、過程を楽しんでいた。「どうなるのかな?」をその時その場で試せる環境を保証することが、人間の創造性を育む条件のひとつのように感じる時間だった。目の前のことがどう変化していくか試し続けたい子ども達についていけるよう大人の柔軟性を試されている様だった。
- ・色々な発見、感触、感覚を身体で感じることを大切にし、遊びの展開や環境を考えていきたい。
- ・子どもは大人が思う以上に色々な事を気づき観察しているようで、大人がこのあとこの子はどうするのか?と興味を持って寄り添うことで声が拾え、姿がクリアに見えるものだと感じた。